

医療ソーシャルワーカーが多職種と取り組む復学・就学支援
～「学びたい」に寄り添う実践とソーシャルアクション～
脇坂健史，谷田友美
大分大学医学部附属病院 総合患者支援センター

当院小児科病棟には，がん・難病・糖尿病等で長期間の治療が必要な児が入院している．入院が長期化すれば，児の社会参加への問題，特に教育的課題についての支援が求められる．今回，医療ソーシャルワーカーが医師や看護師等の多職種と協働で取り組んだ復学・就学支援について，平成31年4月～令和2年9月までの復学・就学カンファレンスの実績分析結果と，ソーシャルアクションにも繋がった事例について報告する．